



以下に、下関市観光政策課にお送りいただいたお礼状3通をご紹介します。  
2通目の方は、旅行前に1通と旅行後にも1通、提案も含めたお礼状をいただきました。

もちろん、観光政策課には苦情のお手紙もいただきます。ご意見は真摯に受け止めなければならない貴重なものも多く、反省すべきは反省し、より優れた観光地となるよう官民でこれまで以上に努力してまいります。

今回、「おもてなしの心」を感じ取っていただけるお礼状の一部を紹介することで、本ビジョンの数的最終目標としての観光客数1,000万人、宿泊客数100万人に向けて、関係者はもちろん、市民全体で取り組むことの必要性並びに「おもてなしの心」の必要性を感じ取っていただければと思います。

#### ～ お礼状1（メールにて）～

初めまして。

先日、パンフレットを希望いたしました、Bです。

先程、パンフレットが届きました。ありがとうございます。

実は、下関市以外の他の市、県などにも、パンフレット送付を希望したのですが、あなた様のお送りくださったパンフレット類の心配り、おもてなしの心いっぱいのご配慮に嬉しい驚きでいっぱいです。添付のミニレターが嬉しかったです。どうしても、一言、お礼が申し上げたく早速、メールを差し上げた次第です。

私は6年前に癌にかかり、幸いにも早期だったので今も元気しておりますが、その癌告知の明るく日が、萩、津和野～広島の旅ツアーの初日だったのです。

参加することは参加しましたが、萩で宿泊後、ツアーを離れ家族で朝一番に帰路につきました。当たり前ですが、ショックで旅行する気になれなかったのです。その時、「必ず元気になって、もう一度山口に来るぞ」と心に誓いました。

その後、すぐ手術し、胃を2/3切除。しばらくは、身体の調子も元通りとは行きませんでした。おかげさまで今はもう慣れました。タイミングが合わず、6年後の実現となりましたが、この夏、そちらに伺います。

どこに宿泊するかなど、全く未定でしたが、あなた様にいただいたパンフレットと封筒からあふれ出るようなおもてなしのお気持ちに今回は「下関に一泊したい。」と強く思いました。

年数回の旅行には、必ず、パンフレットを請求いたしますがこのような素敵な「旅への誘い」をしてくださった方は初めてです。

思い出の地、山口にあなたのようなお方がいらっしやる。待っていてくださる・・・  
そう思いながら8月を待ちたいと思います。

～ お礼状 2 - 1 (郵便にて) ～

観光資料をお送りいただきありがとうございました。

今回は、名古屋、広島、津和野、萩、下関(宿泊)の旅に出かけます。会社を引退し丁度2年になりますが会社の同期の友人たちと近くの海外、国内の観光を楽しんでいます。現役の時は百貨店に勤務していた関係で休みがまとめて取れず、なかなか出張以外の旅行ができなかったので、今は本当に自分の時間を謳歌しています。

さて、この度はお願いした資料を完璧にそろえていただき、大変感激しております。私もほとんど営業畑にいましたので、「お客様の期待を上回るおもてなしを!」と後輩を指導してまいりましたので、この度のお気遣いがよくわかります。とくにわれわれの楽しみ=おいしい魚を食べ地酒を飲むに適した居酒屋のご紹介は大いに参考になりました。下関で一泊するのは初めてですが27日、28日は楽しい旅行になりそうです。

取り急ぎお礼申し上げます。



## ～ お礼状 2-2 (郵便にて) ～

27・28日と「津和野・萩・下関」2日間の旅に行ってきました。  
 27日の夜はご紹介いただいた居酒屋のうち「〇〇〇」さんにお邪魔し、  
 おいしい刺身、ひれ酒・骨酒をいただき大変満足しました。また、そこ  
 でかなり飲んでからカウンターの中の大将にAさんから送ってもらった  
 リストを見せて、こちらを選んだいきさつをお話したらたいそう喜ばれ、  
 私の相棒とノ杯つつひれ酒をサービスいただき、最後に店を出るとき  
 外までお見送りいただきました。まさに「旅の醍醐味」を味わった気が  
 しました。

翌日はフリータイムのため3時半まで「海峡出会い旅 下関 観光ガイド  
 ブック」を見ながらバスに乗ったり、歩いたりのにびり下関を満喫しま  
 した。天皇・皇后陛下のご訪問と重なり、やや混雑しましたが、巖流島  
 にも渡り、「カモンワーフ」でふくどんぶり、唐戸市場でふくかわ、白子  
 を買い海を見ながら飲んだり、食べたり、さいわい天気にも恵まれ大いに  
 楽しませていただきました。

それから、少し遠かったのですが「みもすそ川公園」まで歩いて行ったら  
 「長州砲」の近くで着物を着た方が紙芝居を無料で熱演しておられました。  
 観客がら〜く人しかいなくてももったいないような気がしました。

ボランティアの方が観光課の方がわかりませんが、もう少し集客のある  
 「カモンワーフ」のようなところでやられればより多くのお客様に観て  
 いただけるのでは？

また、巖流島も景色はよかったです。もうひとつふたつ見どころを  
 作り、滞在時間を延ばす工夫がいろいろではと感じました。先ほどの紙芝居  
 ではないですが、「ミニビデオ館」を作るとか、誰もが気が付かないと  
 思われる「佐々木巖流之碑」の位置の見直し、当時の伝馬船の再現  
 (置いてはあろうが底抜けの残骸)、など決闘400周年にふさわしいイベ  
 ントが要るのでは？

感じたことをとりとめもなく、ノ観光客の感想としてお伝えしました。  
 また機会あれば今度は「門司港レトロ地区」へも行ってみたいと思っ  
 ています。ほんとうにありがとうございました。

～終わりに～

この「下関市観光交流ビジョン 2022」は、概ね 10 年先、2022 年を目標に観光客数 1,000 万人、宿泊客数 100 万人の数値目標を掲げ、それに向けての観光振興戦略を策定したものです。ただし、これらの観光振興戦略はこれで全てが完成し、今後 10 年間に渡って固定されるものではありません。本市観光を取り巻く内外の様々な環境変化等により、常に戦略の見直し等が必要となってまいります。

そのため、今回のビジョン策定は本市の新たな観光振興戦略の始まりと考えており、これからも引き続き、観光客や観光関係者、市民の皆様からのご意見にも幅広く耳を傾け、より時勢に沿った観光振興戦略になるように変更も行き、市全体で名実ともに「観光交流都市 下関市」構築に向けたたゆまぬ努力を継続してまいります。

下関市観光交流ビジョンに関するご意見等をお待ちしております。

下関市観光交流部観光政策課

〒750-0008 下関市田中町 5 番 6 号

Tel : 083-231-1350 Fax : 083-231-1853

E-mail : [sgkanko@city.shimonoseki.yamaguchi.jp](mailto:sgkanko@city.shimonoseki.yamaguchi.jp)



～関門海峡の夜明け～